



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場取引所 大

上場会社名 サンコール株式会社
コード番号 5985 URL <http://www.suncall.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田茂次

問合せ先責任者 (役職名) 業務・管理部門長 (氏名) 和田英夫

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 075-881-5280

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	22,541	△10.1	1,230	△46.2	1,192	△42.9	582	△51.2
23年3月期第3四半期	25,074	22.2	2,286	61.4	2,089	43.6	1,194	47.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 190百万円 (△82.6%) 23年3月期第3四半期 1,095百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	18.41	18.27
23年3月期第3四半期	36.99	36.77

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	33,092	24,842	74.7
23年3月期	34,113	25,077	73.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 24,722百万円 23年3月期 24,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
24年3月期	—	6.00	—		
24年3月期(予想)				9.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	△7.8	1,700	△34.8	1,600	△35.3	900	△37.0	28.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) Suncall Technologies (SZ) Co.,Ltd. 、除外 1社 (社名)
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	34,057,923 株	23年3月期	34,057,923 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	2,413,208 株	23年3月期	2,411,373 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	31,646,664 株	23年3月期3Q	32,300,276 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
(1) 製品区分別の売上業績	9
(2) 海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災で大きく落ち込んだ景気は回復に向かっています。しかし、海外経済の減速やタイの大洪水の影響により回復のペースにブレーキがかかりました。更に、円相場は対ドルで70円台が定着し、輸出企業を中心に収益を圧迫しました。また対ユーロでも年末に向けて円高が進みました。

欧州では債務危機に陥っているギリシャへの支援が難航し、世界的金融危機に発展しかねない緊迫した状況が続きました。

米国は、輸出の増加等を背景に改善傾向にありましたが景気対策や減税の効果が薄れたことから、成長のペースは緩やかでした。欧州債務危機の深刻化によりアジア地域の景気が減速すれば、米国からの輸出にもマイナスの影響が出てくる懸念があります。

中国の景気は減速しましたが依然高い水準となりました。タイでは成長率が持ち直してきた矢先の深刻な水害により大きく落ち込み、被災企業の操業は再開されてきたものの稼働率は低水準に留まりました。アジア地域はEU及び米国向け輸出の依存度が高く、欧州債務危機の行方次第では景気が後退する懸念があります。

このような環境の下で当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は225億41百万円（前年同期比10.1%減）、営業利益は12億30百万円（前年同期比46.2%減）、経常利益は11億92百万円（前年同期比42.9%減）となり、四半期純利益は税制改正に伴う繰延税金資産の一部を取り崩した結果5億82百万円（前年同期比51.2%減）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

<日本>

日本では震災で落ち込んだ業績は夏以降回復局面にありましたが、一方で、欧米経済の失速からお客さまの受注の伸びも緩慢になり、超円高が定着したことも収益を圧迫しました。更にタイの大洪水で被災されたお客さまの生産調整が供給網を通じて日本での売上減少となりました。結果として、売上高は183億76百万円（前年同期比9.8%減）、セグメント利益が15億82百万円（前年同期比32.9%減）となりました。

<米国>

米国子会社の自動車精密部品は4月以降震災の影響によるお客さまでの生産調整から売上は大きく落ち込み、損失となりました。その後緩やかに回復し、9月に前年並みにまで回復しました。利益も回復してきましたが損失を解消するまでには至りませんでした。光通信部品につきましては、販売数量及び価格が下落し売上が落ち込みました。結果として、売上高は13億83百万円（前年同期比18.5%減）、セグメント損失が1億5百万円（前年同期は13百万円の損失）となりました。

<アジア>

プリンター関連部品では、香港子会社は軽量タイプのローラーの受注の伸びは緩やかになりましたが好調を維持しました。ベトナム子会社ではお客様での生産機種変更などがあり売上は減少しました。中国子会社及びタイ子会社は米国子会社同様、震災影響で売上が大きく落ち込み、損失となりました。当四半期に入り回復基調となりましたが損失を解消するまでには至りませんでした。結果として、売上高は44億57百万円（前年同期比13.8%減）、セグメント利益1億34百万円（前年同期比62.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債・純資産の状況

[資産]

総資産は、330億92百万円（前連結会計年度末比10億21百万円減）となりました。これは、減価償却等により機械装置及び運搬具が3億18百万円、株価下落により投資有価証券が5億84百万円減少したこと等によるものであります。

[負債]

負債は、82億49百万円（前連結会計年度末比7億86百万円減）となりました。これは、支払手形及び買掛金が1億71百万円、確定納税等により未払法人税等が2億92百万円減少したこと等によるものであります。

[純資産]

純資産は、248億42百万円（前連結会計年度末比2億34百万円減）となりました。これは、株価下落によりその他有価証券評価差額金が2億75百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年7月15日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結累計期間において、当社の連結子会社であるSUNCALL CO., (H.K.) LTD. が100%出資子会社Suncall Technologies (SZ) Co., Ltd. を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,767	7,907
受取手形及び売掛金	7,213	7,112
商品及び製品	1,342	1,511
仕掛品	1,310	1,363
原材料及び貯蔵品	1,102	1,132
その他	456	338
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	19,191	19,363
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,386	3,255
機械装置及び運搬具（純額）	5,061	4,743
その他（純額）	2,500	2,158
有形固定資産合計	10,949	10,157
無形固定資産		
投資その他の資産	142	153
投資有価証券	3,441	2,856
その他	389	562
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,830	3,418
固定資産合計	14,922	13,728
資産合計	34,113	33,092
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,829	4,657
短期借入金	429	276
未払法人税等	499	206
役員賞与引当金	—	16
賞与引当金	352	196
その他	2,067	2,161
流動負債合計	8,178	7,515
固定負債		
長期借入金	17	—
退職給付引当金	473	491
その他	366	242
固定負債合計	858	734
負債合計	9,036	8,249

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	2,747	2,747
利益剰余金	17,689	17,829
自己株式	△921	△922
株主資本合計	24,324	24,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,304	1,028
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△653	△769
その他の包括利益累計額合計	650	259
新株予約権	102	120
純資産合計	25,077	24,842
負債純資産合計	34,113	33,092

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	25,074	22,541
売上原価	20,131	18,687
売上総利益	4,942	3,853
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	523	486
報酬及び給料手当	674	700
役員賞与引当金繰入額	17	16
賞与引当金繰入額	34	32
退職給付費用	77	84
その他	1,328	1,301
販売費及び一般管理費合計	2,656	2,622
営業利益	2,286	1,230
営業外収益		
受取配当金	51	64
物品売却益	57	45
その他	33	64
営業外収益合計	142	175
営業外費用		
為替差損	319	198
その他	19	15
営業外費用合計	339	213
経常利益	2,089	1,192
特別利益		
固定資産売却益	3	2
退職給付制度移行益	—	45
特別利益合計	3	47
特別損失		
固定資産廃棄損	16	13
退職給付費用	43	—
過年度関税追徴損	—	27
関係会社清算損	161	—
その他	0	0
特別損失合計	222	41
税金等調整前四半期純利益	1,870	1,198
法人税、住民税及び事業税	663	427
法人税等調整額	12	188
法人税等合計	675	616
少数株主損益調整前四半期純利益	1,194	582
四半期純利益	1,194	582

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,194	582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62	△275
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△37	△116
その他の包括利益合計	△99	△391
四半期包括利益	1,095	190
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,095	190
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米国	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	18,752	1,697	4,624	25,074	—	25,074
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,614	1	546	2,162	△2,162	—
計	20,366	1,698	5,170	27,236	△2,162	25,074
セグメント利益又は損失(△)	2,357	△13	357	2,701	△415	2,286

(注) 1 セグメント利益の調整額△415百万円には、セグメント間取引消去19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△434百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米国	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	17,115	1,382	4,042	22,541	—	22,541
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,261	1	414	1,676	△1,676	—
計	18,376	1,383	4,457	24,217	△1,676	22,541
セグメント利益又は損失(△)	1,582	△105	134	1,610	△380	1,230

(注) 1 セグメント利益の調整額△380百万円には、セグメント間取引消去34百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△414百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 製品区分別の売上業績

製品区分の名称	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減	
	自平成22年4月1日 至平成22年12月31日		自平成23年4月1日 至平成23年12月31日			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密機能材料	2,661	10.6	2,971	13.2	310	11.7
精密機能部品	14,082	56.2	12,115	53.7	△1,967	△14.0
サスペンション	3,454	13.8	3,054	13.6	△400	△11.6
プリンター関連	2,955	11.8	2,736	12.1	△219	△7.4
デジトロ精密部品	1,783	7.1	1,552	6.9	△230	△12.9
その他製品	135	0.5	109	0.5	△25	△19.1
合計	25,074	100.0	22,541	100.0	△2,533	△10.1

[精密機能材料]

精密異形材料は前年実績を下回りましたが、弁ばね材料の輸出は堅調に推移し29億71百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

[精密機能部品]

第2四半期以降は回復基調にありますが、第1四半期の震災による落ち込みをカバーするまでには至らず121億15百万円（前年同期比14.0%減）となりました。

[サスペンション]

円高やタイの大洪水による供給調整等の影響を受けた結果、30億54百万円（前年同期比11.6%減）となりました。

[プリンター関連]

軽量タイプのローラーが前年実績を大きく上回ったものの、チューブローラーの落ち込みをカバーするまでには至らず27億36百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

[デジトロ精密部品]

複写機用部品は好調であったものの、光信用部品及び切削部品が低調であったことから15億52百万円（前年同期比12.9%減）となりました。

(2) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年12月31日）

	北アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	2,235	529	8,393	123	11,282
II 連結売上高（百万円）					25,074
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	8.9	2.1	33.5	0.5	45.0

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

	北アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	1,960	754	7,438	137	10,291
II 連結売上高（百万円）					22,541
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	8.7	3.4	33.0	0.6	45.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北アメリカ……米国、カナダ、メキシコ

(2) ヨーロッパ……ドイツ、スイス、オランダ

(3) アジア……中国、韓国、タイ、ベトナム、インドネシア

(4) その他の地域……ブラジル

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。